



アート鑑賞ワークショップ

ビジネスパーソンにこそ、アートが必要？

論理的な思考が重要とされる経営デザインやビジネスシーンにおいて、いま新たに注目されているのが感性や美意識の重要性。現在の複雑で不安定な世界においては、これまでの思考法だけでは不十分だと言われております。意思決定の質を高めるには、サイエンスの視点だけでなく、アートの視点が重要です。

アート鑑賞ワークショップとは

アート鑑賞を通じて、ビジネスシーンに役立つ**観察力、思考力、表現力、多様性の理解、そして美意識**を鍛えていくワークショップです。ニューヨーク近代美術館（MOMA）で1983年から1993年まで教育部部長を務めていたフィリップ・ヤノウィンが中心となって開発された美術鑑賞法「VTS（ビジュアル・シンキング・ストラテジーズ）」をもとに実施いたします。

ワークショップのすすめかた

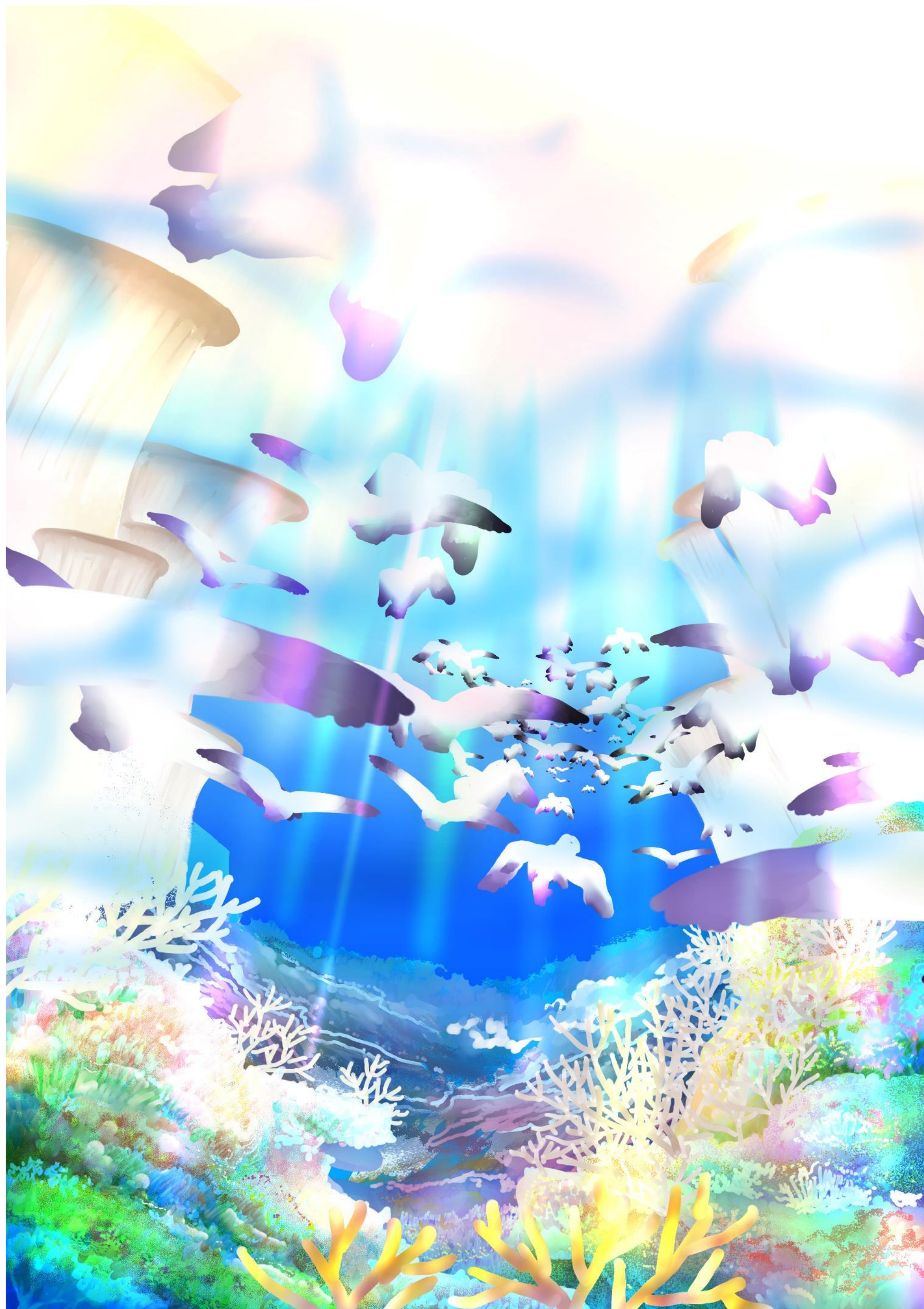
神吉みちるさんの作品を画面に映します。一定時間（2分弱）静かにアート鑑賞していただいたのち、皆さんに決まった質問をしていきます。鑑賞から質問への回答まで、先入観を持たず思ったことを素直に感じ、表現してください。最後に解説をいたします。



①何が起きているのでしょうか？

②どこからそう思いましたか？

③もっと発見はありますか？



①何が起きているのでしょうか？

②どこからそう思いましたか？

③もっと発見はありますか？

作品名

境界のある世界 境界のない世界



①何が起きているのでしょうか？

②どこからそう思いましたか？

③もっと発見はありますか？



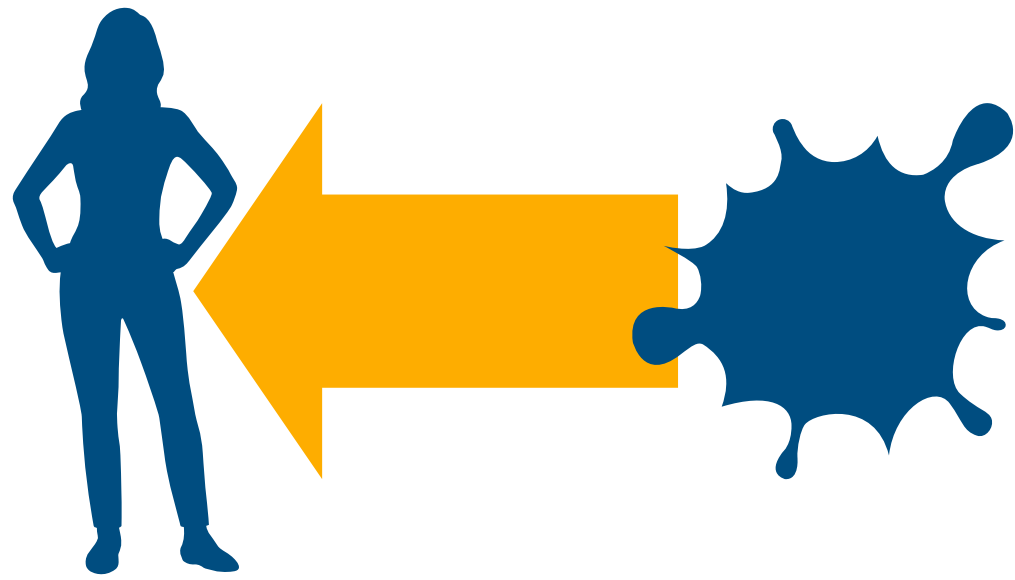
- ①何が起きているのでしょうか？
- ②どこからそう思いましたか？
- ③もっと発見はありますか？

作品名 森のさんご

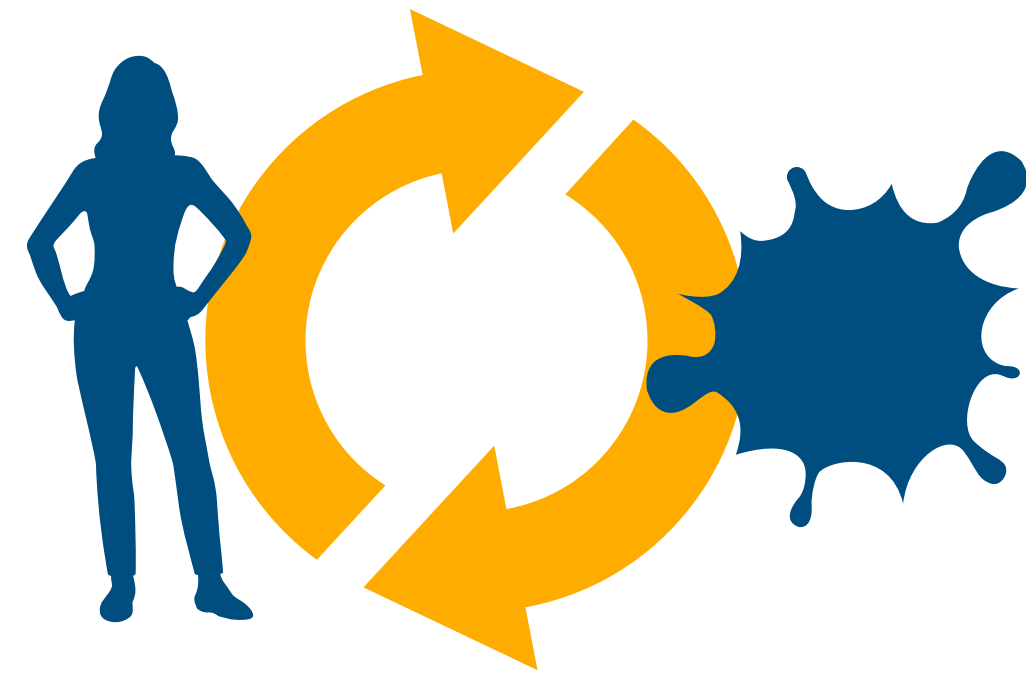
- ① リフレッシュ
- ② 感性を刺激する
- ③ 自分なりの答え

自分なりの答えを引き出すアート思考

通常のアート鑑賞



アート思考のアート鑑賞

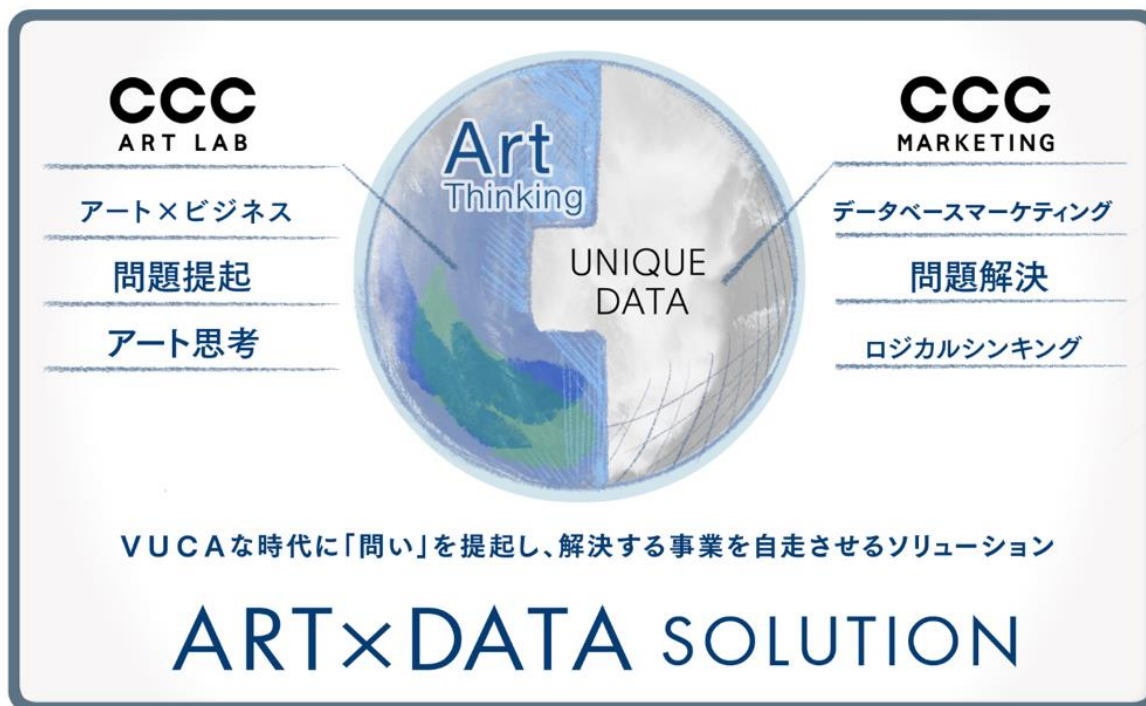


観察力・批評的思考力・言語化力

- ・ インパクト → イノベーション
- ・ ストーリー → プロセス
- ・ レイヤー → レジリエンス

アート×ビジネスの取組み

アート思考とロジカル思考の
掛け合わせによる
ソリューション提案



アートプロジェクトが
ESG経営に与える効果を
検証するワークショップ



自動車メーカー・
コンセプトストアでのア
ートプロジェクト

